

## 全国に小林を！探検家 おかむらたかし 岡村隆さんをふるさと大使に委嘱

8月4日、探検家として世界で活躍する、岡村隆さん（真方出身）に、市ふるさと大使を委嘱しました。岡村さんは半世紀にわたりスリランカやモルディブのジャングルで遺跡の探索を行っており、先住民が残した岩絵の調査など数々の功績を持ちます。2019年には、その功績や創造的な行動が評価され「植村直己冒険賞」を受賞しました。



岡村さんは「ふるさとがあつての自分だと常に意識しています。これまで以上に小林市の良さをアピールしていきたい」と抱負を語りました

## 高齢者訪問調査ボランティア

7月28日、新型コロナウイルス感染症の影響などで活動の低下が見込まれる高齢者宅を訪問し、健康維持や必要な支援につなげるための調査員の委嘱式が行われました。委嘱されたのはボランティア31人で、住民力を活かした見守り体制強化が図られます。



## 人権擁護委員に2名を委嘱

人権擁護委員として、榎光子さん（写真⑤）と椎原えい子さん（写真⑥）が法務大臣から委嘱されました。今後は、毎月開催している「人権・行政・なやみごと相談」などで活動されます。気軽にご相談ください。 ※相談日は広報こばやし15頁を参照



松田千幸さん（写真⑥）は「被災地の手助け、そしてこの活動が大きな支援の輪になれば良いという思いで活動しました」と思いを述べました

## 高校生25人が自ら発案・行動 募金活動で被災地へ寄附

8月3日、小林高校の生徒が「令和2年7月豪雨災害義援金」の街頭募金活動を行い、集まった募金が日本赤十字社宮崎県支部小林地区（地区長：宮原市長）へ寄附されました。「被災地のために何かしたい」という生徒の発案がきっかけ。その後、生徒会が中心となって計画・実施され、1年生25人が市内数カ所で3日間活動を行いました。

## 災害時に市民生活を守るため 災害協定を2団体と締結

7月22日、（一財）九州電気保安協会宮崎支部（田本広支部長）と災害時における公共施設などの電力の維持・早期復旧についての協定を締結しました。田本支部長は「公共施設の電力早期復旧で、災害対応の安定化に寄与したい」と話しました。



また同日、宮崎県行政書士会（濱田哲郎会長）と大規模災害時における行政手続き相談などについて協定を締結しました。濱田会長は「大規模災害のときには、市民生活への対応充実のために協定を活用していただきたい」と話しました。



（写真⑤）九州電気保安協会宮崎支部 （写真⑥）宮崎県行政書士会